

平成27年第1回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 国の地域住民生活等緊急支援に伴う補正予算について

まず始めに、国の地域住民生活等緊急支援に伴う補正予算についてですが、経済対策である消費喚起・生活支援型交付金につきましては、「プレミアム付商品券」の発行のほか、子育て世帯を対象とした「子育て応援事業」、新たな市民の誕生をお祝いする「赤ちゃんすくすく応援事業」を実施してまいります。

また、地方の人口減少対策などを支援する地方創生先行型交付金につきましては、「ファーストマイホーム支援事業」や「おためし移住事業」、「若年層新規雇用助成金交付事業」などを引き続き実施するほか、人口減少に歯止めをかけ、若い世代の就労・結婚・育児がしやすい社会経済環境の整備に向け、今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す「地方版総合戦略」の策定を進めてまいります。

地方版総合戦略の策定にあたりましては、結婚・出産・育児や、移住などに関する意識調査を実施するほか、市民の皆様や産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体などで構成する推進組織や議会において、広く意見を聞いてまいりたいと考えております。

なお、本定例会において、各事業における必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

2 シティセールス推進事業について

次に、シティセールス推進事業についてであります。市の魅力や特色を分かりやすく、楽しみながら知っていただくために、プロモーション動画を制作し、昨年12月からインターネット動画サイトにおいて公開しているところであります。

この動画は、斬新な内容や市職員自らが脚本、演出したことなどが注目され、新聞やテレビで取り上げられたほか、これまでの動画再生回数も1万6千回を超えるなど、市内外に広く発信でき、一定のPR効果があったものと考えております。

現在、第2弾として冬を舞台とした動画を制作しており、3月下旬に公開を予定しているところであります。

3 ファーストマイホーム支援事業について

次に、ファーストマイホーム支援事業についてであります。子育て世代の定住促進を目的に、昨年9月1日から申請受付を開始し、1月中旬までに50件の助成を決定したところであります。

その内訳につきましては、新築住宅が19件、中古住宅が31件であり、市外からの転入が26件90名、市内異動が24件99名となっており、189名の定住が図られたところであります。

この事業により、子育て世代の定住促進や、地域の活性化などにも繋がるものと考えております。

4 大曲会館の改修工事について

次に、大曲会館の改修工事についてであります。昨年7月からエレベーターの新設、トイレや個別暖房、外壁塗装などの改修工事を実施しており、2月下旬に完成する予定となっております。

このことにより、利便性の向上が図られるとともに、地域の皆様の交流や活動が、より一層、活性化するものと期待しているところであります。

5 中央公民館の改修工事について

次に、中央公民館の改修工事についてであります。昨年9月からエレベーターの新設、トイレや廊下、各部屋の改修、耐震補強などの工事を実施しており、3月に完了する予定となっております。

今後につきましては、5月のリニューアルオープンに向けて、準備を進めているところであります。

6 駅西口広場の改修工事について

次に、駅西口広場の改修工事についてであります。昨年10月からロードヒーティングの設置やバス停留所の改修工事を実施し、昨年12月に完成したところであります。

このことにより、市民の皆様の冬期間における、安全で良好な歩行空間が確保されたものと考えております。

7 降雪状況について

次に、降雪の状況についてであります。道内の一部地域では大雪となっておりますが、本市では、平年を若干下回る降雪となっております。

今後につきましても、適切な除排雪を実施し、安全な通行の確保に努めてまいります。

また、今年も中学校や高校の生徒の皆様、企業、さらには多くの市民の皆様が高齢者世帯などを中心に除雪ボランティア活動を行っており、地域の皆様から大変喜ばれているところであります。

ボランティア活動に参加された皆様に、心から感謝を申し上げます。

以上申し上げ、行政報告といたします。